問い合わせ先

◎厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室
担当　山本、木下
TEL(代表)5253-1111　内線 2346 、2338
(直通)3595-2245

農林水産省農村振興局農村政策課
担当者　松本
TEL(代表)3502-8111　内線 4618
(直通)3502-6001

農林水産省農村振興局地域振興課
担当者　田中、尾倉
TEL(代表)3502-8111　内線 4635 、4649
(直通)3502-6004

国土交通省都市・地域整備局地方整備課
担当者　深井
TEL(代表)5253-8111　内線 32-412

都市と農山漁村の健康増進の情報発信・実践支援ネットワーク形成事業

１．趣　　旨

人口の高齢化の進展に伴い、高齢者が健康で生きがいをもって過ごせる社会をつくることが今後の大きな社会経済的課題となっている。

農山漁村地域は、都市住民に「ゆとり」や「やすらぎ」をもたらす豊かな自然、美しい景観や文化に恵まれていることから、農山漁村の健康増進機能に着目する動きが強まっており、係る機能を発揮させるための条件整備が求められている。都市住民の農山漁村体験に関するニーズは高まってきており、とりわけ市民農園における農業体験等は都市高齢者の健康増進と生きがいづくりの活動の場として期待されている。

また、無自覚のうちに進行し生活の質を著しく下げる生活習慣病を予防するため、一次予防に重点を置いた対策が重要であることから、厚生労働省では個人の健康づくりの自発的な取組を社会全体で支援する「健康日本２１」を国民健康づくり運動として推進している。

そこで、農山漁村の持っている機能を活用して、都市住民の健康増進のための実践を行うことや都市と農山漁村地域の交流の促進により地域住民の健康増進を図ることにより、健康で生きがいのある生活の実現と地域活性化に資することを目的とする。

２．事業の概要

（１）都市高齢者の農山漁村地域における健康増進・生きがいをテーマとした都市農山漁村に関するアンケート調査

（２）都市高齢者の農山漁村資源を活用した健康生きがい活動に関する都市農山漁村交流の事例調査及びその評価
①市民農園、援農活動、週末農業等
②グリーン・ツーリズム等農山漁村滞在によるリフレッシュ休暇
③むらづくりＮＰＯ活動（ボランティア活動も含む)、棚田支援　　など

（３）健康増進拠点と都市農村交流施設等の連携手法・情報発信手法の検討

（４）健康増進の拠点となるべき施設における農山漁村の機能、資源を活かした交流事業の実験的実施及びその有用性の検証

（５）①温泉等を利用した健康増進施設を中心とした地域住民の健康増進に資する地域連携実証事業の検討・実施
②ＪＡと連携した農村における健康管理対策の評価調査による、都市と農村の共生の視点からの健康な農村づくり技法の検討

（６）普及啓発活動（医療関係者、自治体関係者、都市農山漁村交流関係者によるワークショップ、シンポジウムを開催）